

第一中学校区の授業研究

〔第一中学校，第一小学校，第二小学校〕

～校内研究で取り組んでいること～

第一中学校区では，教師の役割「聴く・つなぐ・もどす」を大切にし，学年部や教科部会等で事前検討を行い，授業実践に取り組んでいます。

1. 研究授業について



友達に教えることは，自分で「答えを出す」だけでなく，自分の「分かり直し」につながることを学びました。



児童生徒が友達とどう学んでいるか，教師が見取ることが大切であると再確認しました。

2. 研究協議会について



「富士学びの工房」代表の佐藤雅彰先生からは，「年間一人1回の授業公開の大切さ」を教えてくださいました。



児童生徒の様子を動画で撮影し，再生しながら授業リフレクションを行いました。

今後の授業改善の取組について

授業リフレクションでは，「児童生徒が自分から友達に『教えて』と言うようになったこと」「教師の『聴く』意識が高まったこと」が多く挙げられました。今後は，教師の役割「聴く・つなぐ・もどす」の「つなぐ・もどす」を更に意識して取り組んでいきます。